

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【公開番号】特開2016-160242(P2016-160242A)

【公開日】平成28年9月5日 (2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2016-053

【出願番号】特願2015-42671(P2015-42671)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/14 (2006.01)

A 6 1 K 8/42 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 K 8/63 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 47/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/28 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/14

A 6 1 K 8/42

A 6 1 K 8/55

A 6 1 K 8/44

A 6 1 K 8/63

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 47/16

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/28

A 6 1 K 9/107

A 6 1 P 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月19日 (2018.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 7 】

(I) 配合全成分をそれぞれ量り込み、撹拌しながら分散させる。

(II) その後、約 70 ～ 約 80 に加温して、ホモミキサーで高速撹拌し、分散を高める。

。

(III) 次いで、前項 (II) の分散液を高圧ミキサー (マイクロフルイダイザー) により微細に分散させてリボソームを形成させる。

(IV) 次いで、この分散液を室温まで冷却してリボソーム分散液を得る。得られたリボソームの平均粒径は250nm以下であることを確認する。

(6) 皮膚外用剤

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

クリーム剤(成分) (W/W)%

POE(40)ステアリン酸 2%

自己乳化型モノステアリン酸グリセリル 4%

スクワラン 8%

2-エチルヘキサン酸セチル 3%

トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル 2%

トリ 2-エチルヘキサン酸グリセリル 3%

ベヘニルアルコール 4%

メチルポリシロキサン(300cSt) 0.1%

1,3-ブチレングリコール 5%

実施例2のセラミド類含有リボソーム分散液 10%

防腐剤 適量

精製水 残量

(実施例19)